



Life with Green Technology

2017年5月期 第2四半期
決算補足説明資料

2017年1月11日

 三協立山株式会社

1. 2017年5月期 第2四半期決算の概要

1-1. 2017年5月期 2Q連結業績 (損益計算書)

(単位：億円)

	2016年5月期 第2四半期 実績	2017年5月期 第2四半期 計画	2017年5月期 第2四半期 実績	前年同期比		計画比	
				増減	%	増減	%
売上高	1,679	1,690	1,583	▲ 95	-5.7%	▲ 106	-6.3%
売上総利益	353	-	375	22	6.4%	-	-
売上総利益率	21.0%	-	23.7%	-	+2.7p	-	-
営業利益	22	45	40	17	78.5%	▲ 4	-10.2%
営業利益率	1.3%	2.7%	2.6%	-	+1.3p	-	-0.1p
経常利益	16	40	40	23	142.7%	0	1.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	0	25	20	19	-	▲ 4	-18.8%

※金額は1億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

業績の概要

前期比

◆売上高 (▲95億円)

- ・ 建材事業：新設住宅着工戸数の持ち直しが見られたが、非木造建築着工が低水準で推移していることなどにより減収。
- ・ マテリアル事業：輸送分野を中心とした受注量の増加などがあった一方、アルミ地金市況に連動する売上の減少などにより減収。
- ・ 商業施設事業：小売業の新規出店需要や既存店の改装需要に対して提案営業を積極展開したことなどにより増収。
- ・ 国際事業：欧州事業の収益改善やASEAN地域で輸送分野など堅調な需要の取り込みに注力したが、為替影響や欧州で鉄道市場の競争が続いていることなどにより減収。

◆営業利益 (+17億円)

- ・ 建材事業でのコスト削減やアルミ地金価格の低下、マテリアル事業および商業施設事業での受注量増加、国際事業での収益改善推進などにより増益。

計画比

◆売上高 (▲106億円)

- ・ 建材事業での非木造建築着工の低調な推移、マテリアル事業でのアルミ地金市況に連動する売上の減少、国際事業での為替影響などにより計画比減。

◆営業利益 (▲4億円)

- ・ アルミ地金市況の低下、販管費の減少などがあった一方、建材事業での非木造建築着工減少による需要減少影響、国際事業での一時費用計上などにより計画比減。

※参考：2017年5月期 計画の前掲と第2四半期実績

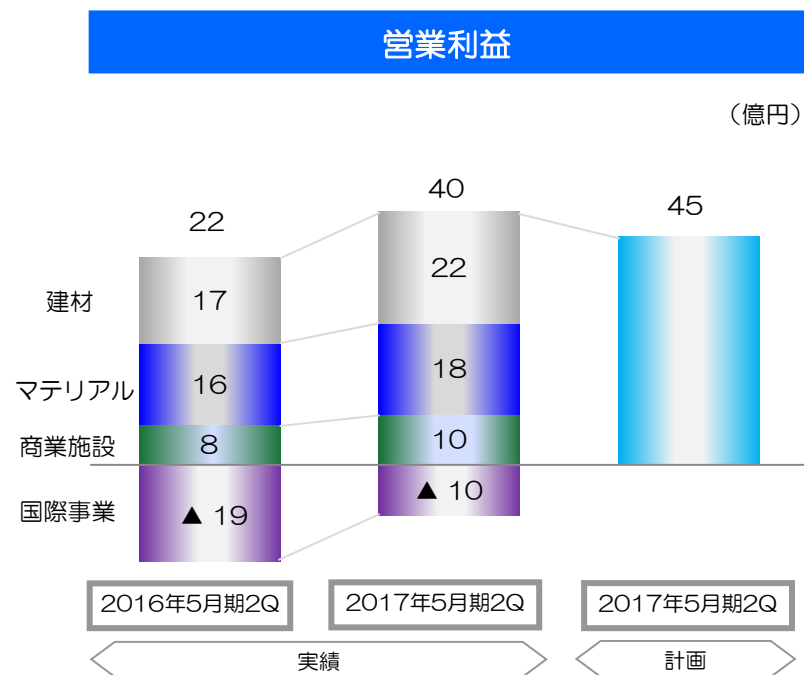
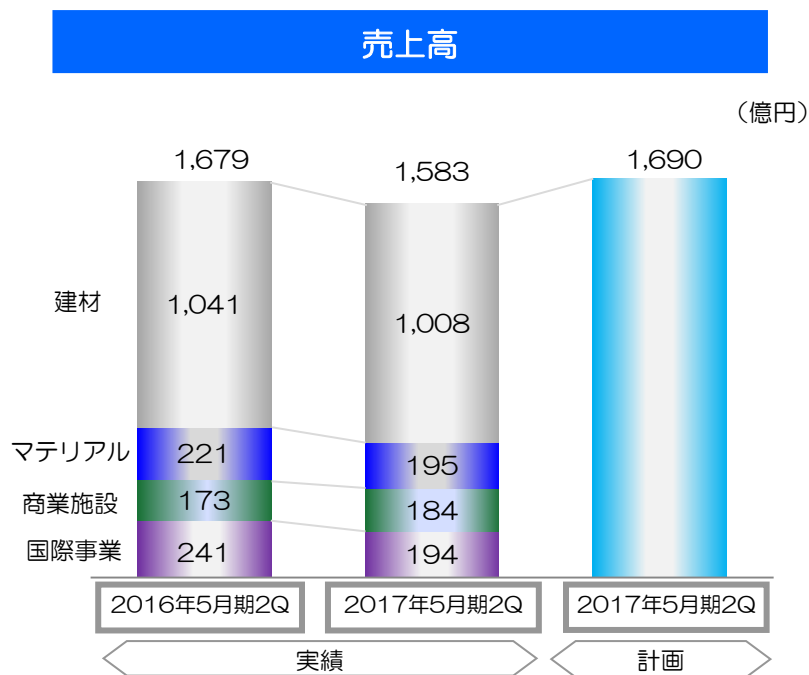
アルミ地金価格(日経アルミ)：計画想定 240円/kg 実績(2016年4-9月平均) 219.2円/kg

為替レート ※ 計画前提(実績：期中平均レート)

120円/ドル(105.3円/ドル)、125円/ユーロ(118.1円/ユーロ) 3.1円/パーツ(3.0円/パーツ)、18円/元(15.9円/元)、

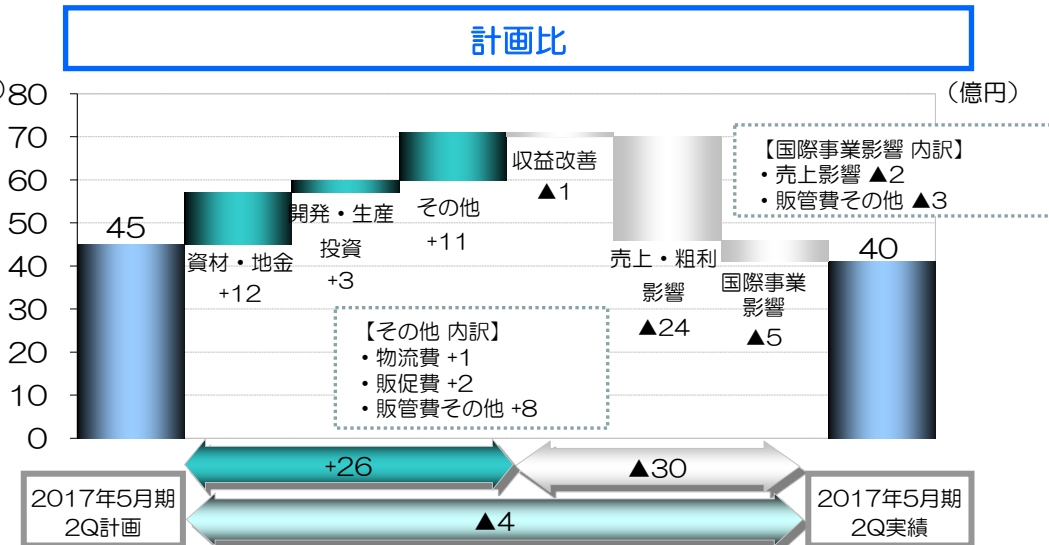
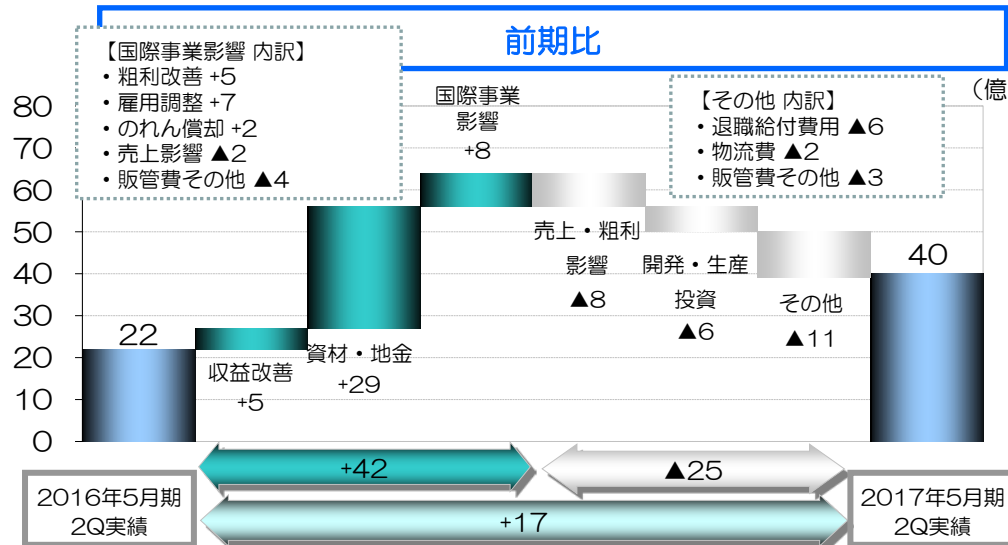
2.6円/ペソ(2.19円/ペソ)

1-2. 2017年5月期 2Q 連結業績 売上高・営業利益の内訳



※金額は1億円未満切り捨て表示

営業利益 増減要因



※金額は1億円未満切り捨て表示

(億円)

1-3. 2017年5月期 2Q連結業績 (貸借対照表)

	2016年 5月期末	2017年 5月期2Q末	前期末比		2016年 5月期末	2017年 5月期2Q末	前期末比
現金及び預金	273	288	14	仕入債務	523	547	23
売上債権	522	535	12	短期借入金	123	145	22
たな卸資産	374	406	32	その他流動負債	297	268	▲28
貸倒引当金	▲17	▲18	▲1	長期借入金・社債	502	536	33
その他	76	76	0	その他固定負債	298	283	▲15
流動資産計	1,230	1,288	58	負債計	1,745	1,781	36
建物及び構築物	273	266	▲6	株主資本	775	788	12
土地	548	541	▲7	その他の包括利益累計額	3	▲1	▲4
その他有形固定資産	245	241	▲3	非支配株主持分	22	24	2
投資有価証券	147	158	10				
貸倒引当金	▲13	▲12	1				
その他固定資産	115	108	▲6	純資産計	801	810	9
固定資産計	1,316	1,303	▲12	負債・純資産計	2,546	2,592	46
資産計	2,546	2,592	46				

※ 長期借入金・社債には、1年内長期借入金・1年内社債も含む

※ 金額は1億円未満切り捨て表示

業績の概要

◆流動資産 (+58億円)

- 現金及び預金：営業CF+16億円、投資CF▲46億円、財務CF+49億円 など
- たな卸資産：建材事業での仕掛品増加などで+32億円

◆固定資産 (▲12億円)

- 有形固定資産の取得、償却、売却および海外子会社の固定資産に係る為替影響などで▲17億円 など

◆負債 (+36億円)

- 仕入債務の増加 +23億円
- 長期、短期借入 +56億円
- 退職給付に係る負債 ▲11億円
- その他流動負債の減少 ▲28億円 など

◆純資産 (+9億円)

- 利益剰余金の増加 +12億円
- その他為替換算調整勘定など ▲4億円 など

1-4.
2017年5月期
2Q連結業績
(キャッシュ・フロー計算書)

(億円)

	2016年 5月期2Q	2017年 5月期2Q	前年同期比
税金等調整前四半期純利益	16	38	22
減価償却費	36	39	3
売上債権の増減	3	▲ 19	▲ 22
たな卸資産の増減	▲ 0	▲ 40	▲ 40
仕入債務の増減	▲ 15	29	45
その他	12	▲ 31	▲ 43
営業活動 C F	52	16	▲ 36
有形固定資産の取得	▲ 53	▲ 42	10
有形固定資産の売却	6	2	▲ 3
その他	▲ 14	▲ 6	7
投資活動 C F	▲ 60	▲ 46	14
短期借入金純増減	▲ 128	23	152
長期借入れによる収入	93	102	9
長期借入金の返済	▲ 64	▲ 68	▲ 3
社債の発行による収入	150	—	▲ 150
その他	▲ 10	▲ 8	2
財務活動 C F	39	49	9
現金同等物の換算差額	▲ 2	▲ 5	▲ 3
現金同等物の増減額	29	14	▲ 14
現金同等物の期首残高	301	263	▲ 37
現金同等物の期末残高	330	278	▲ 52

業績の概要

◆営業活動キャッシュ・フロー (▲36億円)
法人税等の支払額24億円があったが、税金等調整前四半期純利益38億円などにより、16億円の収入。

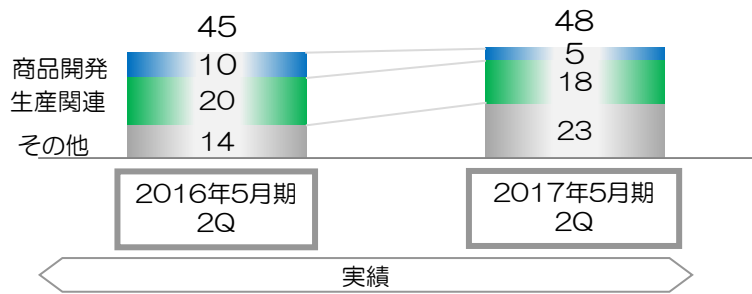
◆投資活動キャッシュ・フロー (+14億円)
有形固定資産の取得による支出42億円などにより、46億円の支出。

◆財務活動キャッシュ・フロー (+9億円)
長期借入金の返済68億円があったが、長期借入れによる収入102億円、短期借入金の純増加額23億円などにより、49億円の収入。

現金同等物の増減額は14億円の収入。

1-5.
2017年5月期
設備投資
2Q実績
通期計画

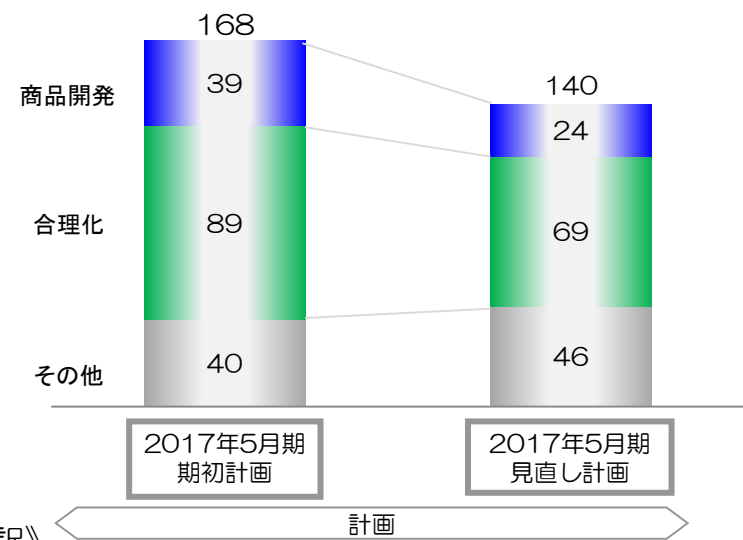
設備投資額
2Q 実績対比 (億円) 通期計画 (期初計画・下期見直し計画対比) (億円)



《内訳》

商品開発		10	5
生産関連	合理化・改善	11	4
	修繕など	9	13
その他	ソフトウェア	2	2
	海外子会社	10	16
	その他	3	3
合計		45	48

減価償却費	36	39
-------	----	----



《内訳》

商品開発		39	24
生産関連	合理化・改善	41	31
	修繕など	48	38
その他	ソフトウェア	12	9
	海外子会社	19	29
	その他	9	9
合計		168	140

減価償却費	90	86
-------	----	----

※金額は1億円未満切り捨て表示

2. ご参考

2-1. 2017年5月期 2Q 事業環境

市場環境	2014年度	2015年度	2016年度
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数(4月-9月)	44.1万戸 (前年比11.6%減)	47.2万戸 (前年比6.9%増)	50.0万戸 (前年比6.0%増)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積(4月-9月)	40,180千㎡ (前年比9.9%減)	39,819千㎡ (前年比0.9%減)	40,194千㎡ (前年比0.9%増)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く] (4月-9月)	179.6千 t (前年比3.5%増)	160.5千 t (前年比10.6%減)	169.6千 t (前年比5.7%増)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗] (4月-9月)	4,969棟 (前年比6.1%減)	4,573棟 (前年比8.0%減)	4,427棟 (前年比3.2%減)
アルミ地金[日経平均] (4月-9月)	273.7円/kg (前年比14.3%増)	274.7円/kg (前年比0.4%増)	219.2円/kg (前年比20.2%減)

2-2.
2017年5月期
2Qトピックス

三協アルミ社 アルミ樹脂複合サッシ「防火窓アルジオ」発売

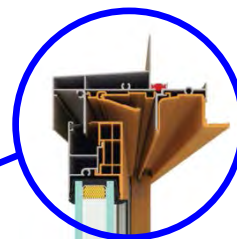
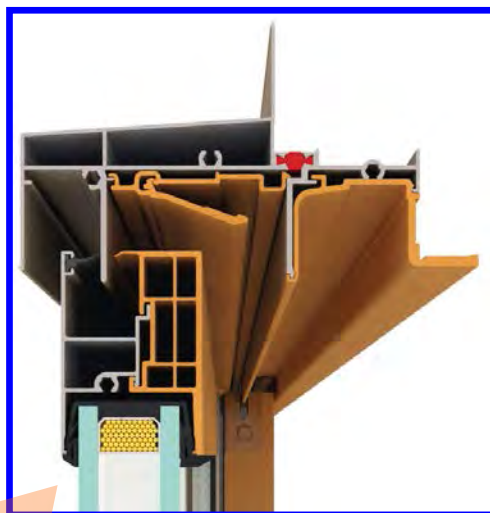
——販売好調な「アルジオ」が防火地域でも対応可能に



ハイスペックサッシ
防火窓ALGEO
アルジオ



上部断面

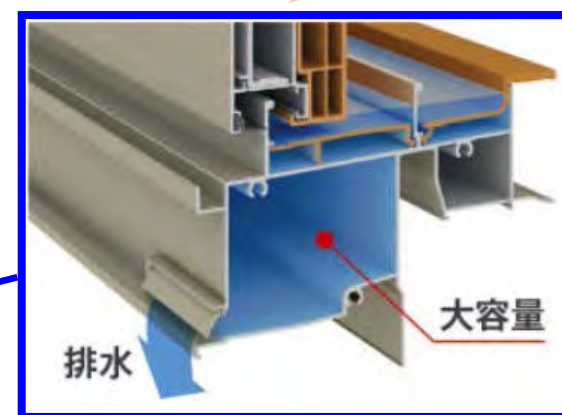


ワンランクアップした耐久性能

ダブルホロー形状による耐風圧強度の向上や、大容量の大型バツフルプレートによる排水性の向上など、昨今の大型台風やゲリラ豪雨に備えた「高耐久性能」を実現

ZEH対応も可能な断熱性能

樹脂部材の見込み厚を大きくし、マルチチャンバー形状（多層形状）にして、ガラス面積を大きくすることで、断熱性を向上。ZEHなど、さまざまな省エネ基準に適合している



排水

大容量

下部断面

都市部では、火災時の延焼防止を目的に「防火地域」「準防火地域」が定められ、設置場所により「防火設備」の使用が義務付けられています。大都市圏では2割以上の地域で防火窓が必要です（東京23区では、準防火地域を含めると、ほぼ全域で防火窓が必要）。「防火窓アルジオ」は、窓種毎に国土交通大臣の「防火設備」としての認定を受けた商品です。

2-3.
2017年5月期
2Qトピックス

三協アルミ社 「S.ボーダー『UCHI - MIZU(ウチミズ)』」が多数受賞
——グッドデザイン賞「私の選んだ一品」／「富山プロダクツ」
／「富山県デザイン展」優秀賞



- ①2016年度グッドデザイン賞「私の選んだ一品2016」
グッドデザイン賞の審査委員76名が選出したもので、同商品は建築家・鈴野浩一氏により選ばれた。
- ②「富山プロダクツ2016」
富山県内で企画・製造される性能、品質およびデザイン性に優れた工業製品を富山プロダクツ選定商品として認定し、販路開拓を支援する制度。
- ③「第56回 富山県デザイン展」
公益社団法人 富山県デザイン協会主催。富山市市民プラザ 2階ギャラリーにおいて展示され、優秀賞を受賞した。

◆環境配慮型ルーバースクリーン「S.ボーダー『UCHI - MIZU(ウチミズ)』」
建築家とのコラボレーション事業“SACLAB(サクラボ)”から誕生したS.ボーダーシリーズ第3弾商品。廃棄物をリサイクルした多孔質の保水材料(発泡セラミック)を用いており、保水ルーバー材に水を浸透させることで、ルーバー表面の温度を下げ、スリットに流れる風が冷やされて外気の熱気を和らげます。

2-4.
2017年5月期
2Qトピックス

三協アルミ社 経済産業省主催 製品安全対策優良企業表彰
——「**「商務流通保安審議官賞」受賞**



受賞Point
アルミニウムおよびその他金属の圧延加工品の製造・販売企画・設計から試作段階におけるリスクアセスメントの取り組み



窓の落下防止、サッシの指挟み対策など、子どもが安全に使えるドア等の製品化を実現しています。



受賞Point
製造段階でのヒューマンエラー発生防止の取り組み

製造時のミスを自動的に検知し、正しい手順をナビゲートする仕組みを導入しています。

受賞Point
SQL認定制度を活用した取引先への安全徹底



品質保証の認定制度（SQL = Sankyo Quality License）を構築し、取引先に対しての、サッシ組立時や納入時の管理徹底と指導により、製品設置時の安全性を確保しています。

◆製品安全対策優良企業表彰
経済産業省が製品安全に積極的に取り組んでいる企業・団体を表彰し、製品安全の価値を定着させることを目的に実施しているもので、今年で10回目。「**「商務流通保安審議官賞」**は「**「経済産業大臣賞」**に次ぐ賞です。

2-5.
2017年5月期
2Qトピックス

三協アルミ社 「エクステリアデザインコンテスト2016」開催
——全国より約2,700点の応募、計128点を表彰

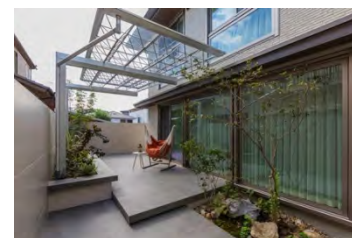


デザイン大賞：株式会社彩園
使用商品：ガーデンルーム「ハピーナ」、人工木デッキ「ひとと木2」

各部門 ゴールドデザイン賞



<ファサード部門>
株式会社岡本ガーデン



<アウトドアリビング部門>
株式会社neutral



<プレゼン部門>
株式会社トップ・アート



<パブリック部門>
株式会社イン ザ フィールズ



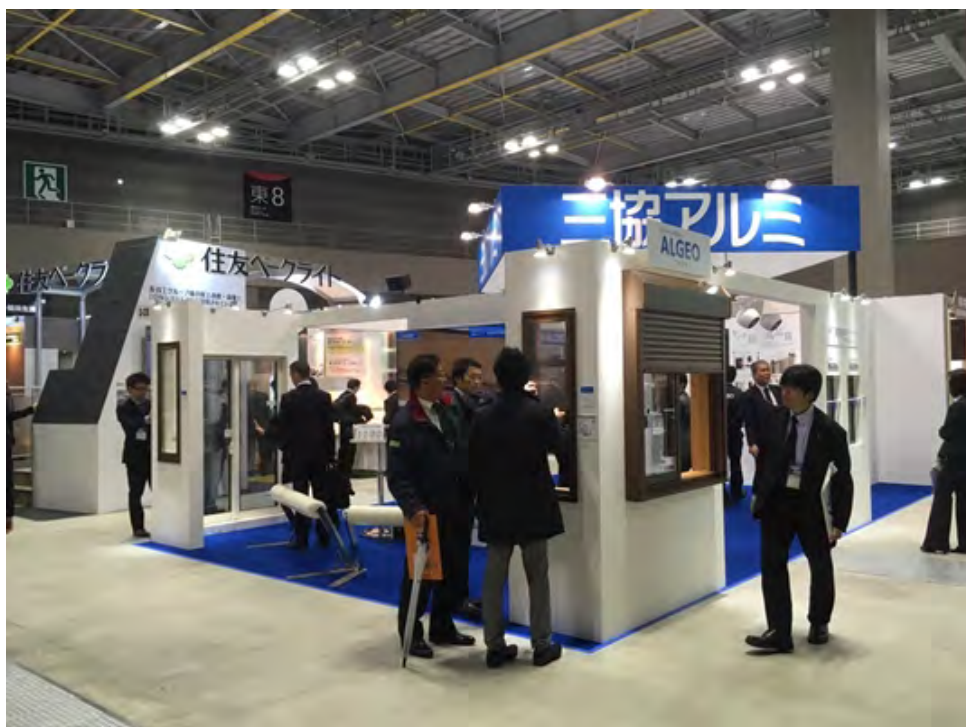
<テーマ部門/コンパクト住宅>
M. Space Planning株式会社

◆エクステリアデザインコンテスト

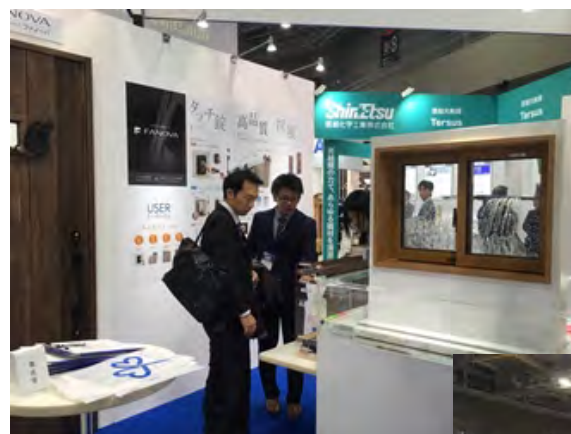
提案力・施工力向上を目的として毎年開催しています。全国の販工店・ハウスメーカー・設計事務所を対象に、当社のエクステリア商品を用いた施工事例5部門と、外構デザインのプランニング・プレゼン部門をあわせた6部門を募集。約2,700点の応募から、デザイン大賞や各部門ゴールドデザイン賞など計128点到賞を贈りました。

2-6.
2017年5月期
2Qトピックス

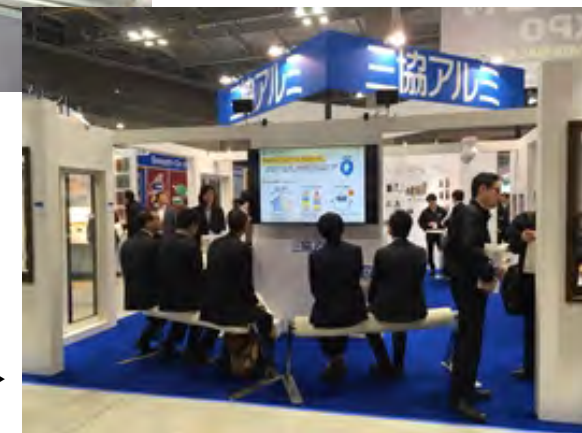
三協アルミ社 「第1回 [高性能] 建材EXPO」 出展
——アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ」などを展示



当社ブースには3日間で約1,200人が来場



◀アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ」や
玄関ドア「ファノーバ」などを提案



「まるわかりZEHセミナー」を▶
1日3回開催

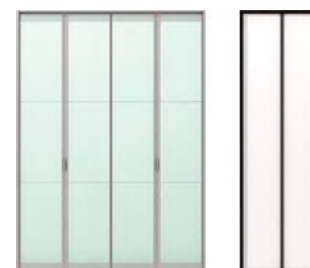
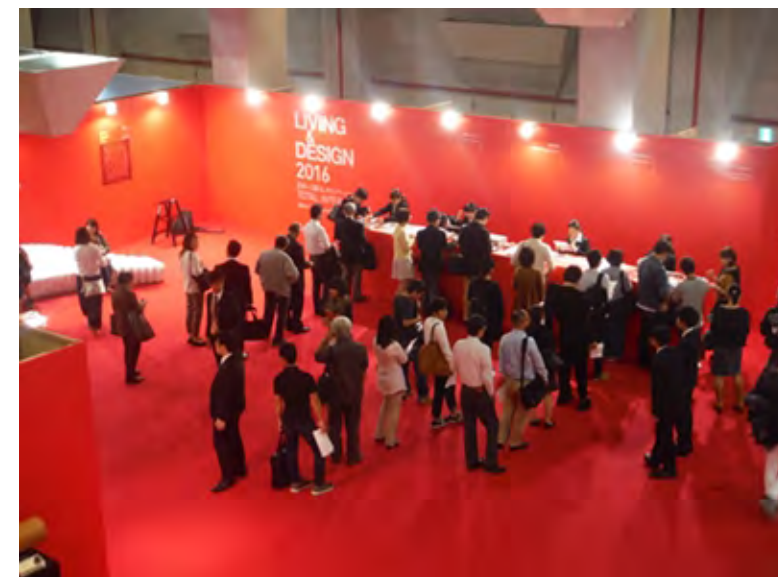
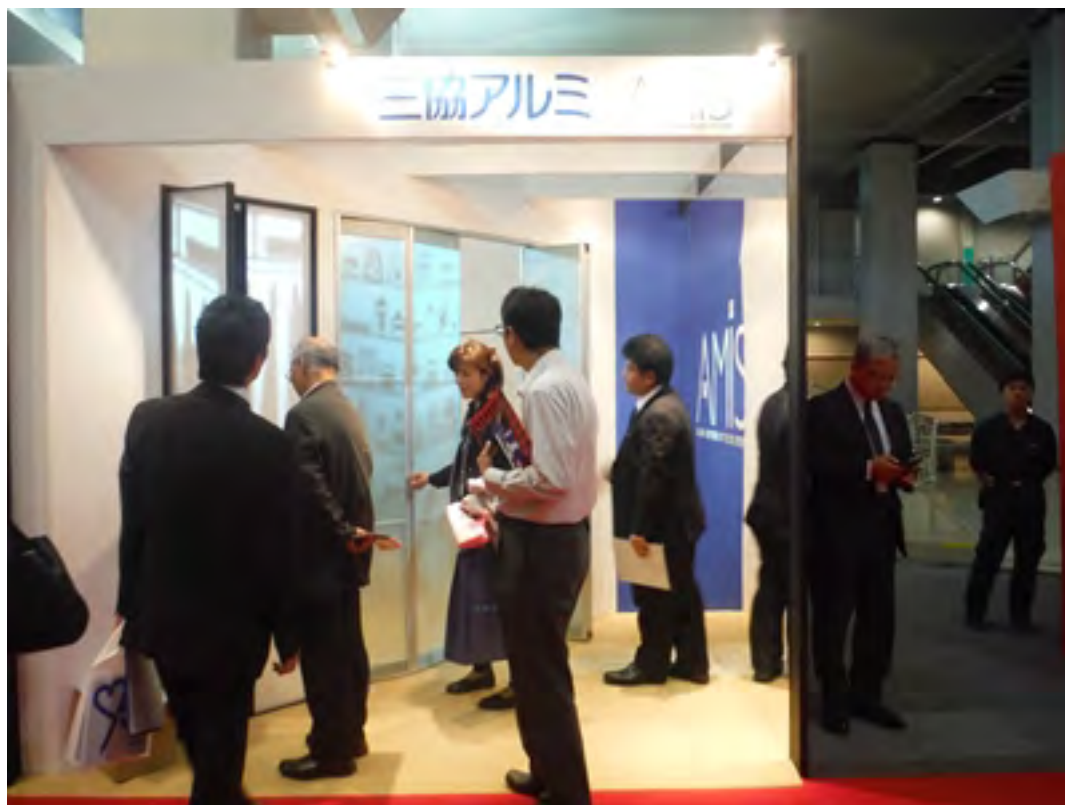
◆ [高性能] 建材EXPO

スマートウェルネス住宅(※)や耐震リフォームといった高い性能の住宅・建築物に必要な建材が出展する、日本初の高性能建材に特化した専門展。同時開催の計5展とあわせて、3日間で約24,000人が来場しました。

※スマートウェルネス住宅：高齢者、障害者、子育て世帯等の多様な世代が交流し、安心して健康に暮らすことができる住宅

2-7.
2017年5月期
2Qトピックス

三協アルミ社 「LIVING&DESIGN 2016」 出展 ——インテリア建材「AMiS(アミス)」を展示



◀インテリア建材「AMiS(アミス)」

◆LIVING & DESIGN

「住まいと暮らしのリノベーション」をテーマに、住空間を創り上げる多彩な提案や商材が集う国際見本市。国内外から143社が出展し、当社からはアルミモダンインテリアシステム「AMiS(アミス)」収納折戸・両開き戸を展示しました。映像で収納しているイメージを演出し、モダンでシンプルな収納スタイルを提案しました。

2-8.
2017年5月期
2Qトピックス

三協アルミ社 女性推進WG主催イベント・企画を実施 ——親子工場見学ツアー「アルミサッシ」の工場見学に行こう！

富山県内の小学生を対象に募集を行い、多数ご応募をいただいた方の中から抽選で46名（20組）の親子にご参加いただきました。今回の「親子工場見学ツアー」は、今年度より富山県内の小学生を対象にして開催したツアーの第2弾です。

工場見学



子どもたちに「アルミサッシ」に興味を持ってもらうことを目的に、射水工場の押出や皮膜工程、新湊工場SANTIC（ビル用商品展示場）を見学



アルミ製フォトフレーム作り体験



工場見学後は、さらにアルミに親しんでもらうため、アルミ製フォトフレーム作りにもチャレンジ



◆女性推進WG（ワーキンググループ）

2014年に「ドラえもん」の販促施策展開を機に発足。今年度の新たな取り組みとして「アルミサッシができるまで」の流れを子ども目線で解説した「三協アルミ・キッズ研究所」のHP公開をはじめ、富山県内の小学生を対象にした『夏休み自由研究応援ツアー「アルミサッシ」を自由研究のテーマにしよう！』や『親子工場見学ツアー』を開催しました。今後も女性目線を生かしたイベントや企画を多数予定しております。

2-9.
2017年5月期
2Qトピックス

三協アルミ社 「未来のとびらコンテスト2016」

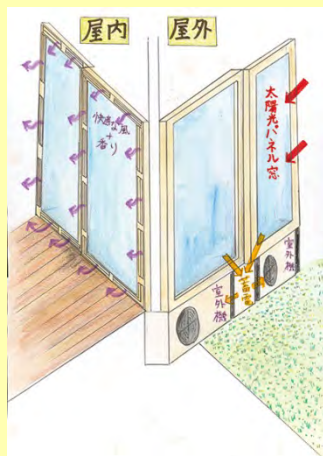
——昨年引き続き、小学生版・大学生版を開催

今年で3回目の開催となる小学生版では、約1,800点の応募の中から計16作品を選定。昨年より開催している大学生版「学生デザインコンペ」は、『ずっといたくなる場所』をテーマに、「空間提案」として7作品、「建材提案」として1作品を表彰しました。どちらも女性推進WGが主催しています。

未来のとびらコンテスト2016 <小学生版>



表彰式



4～6年生の部 金賞作品

未来のとびらコンテスト2016 <大学生版>



表彰式



<空間提案> 最優秀賞1作品

小学生版で金賞を受賞したご家族には、金賞受賞ツアーにご招待し、当社が復原工事で全窓を担当した東京ステーションホテルにて表彰式を開催しました。大学生版では、最優秀賞・優秀賞・審査員賞・三協アルミ賞を受賞した9名（8作品）を表彰し、当社射水工場やDI+smartNAV実験棟(※)を見学いただくとともに、審査員長で建築家の西沢立衛氏が設計に携わった「金沢21世紀美術館」を訪問しました。

※DI+smartNAV実験棟：当社本社敷地内にある、省エネ効果や最適な制御、快適性などの実証データを収集し、新技術の開発に活用するための実験用住宅

2-10.
2017年5月期
2Qトピックス

三協マテリアル社 歩行補助車「シェアウォーカー」
——「富山発・高齢者向けホコケンIoTプロジェクト」に参画

歩行補助車は、富山大学が科学技術振興機構（JST）の助成を得て行う研究プロジェクト「歩行圏コミュニティ研究会」に協力し、開発したものです。元気な高齢者だけでなく、足腰が弱くなった高齢者も積極的に街に出て、生き生きと交流を楽しむことのできる生活圏の実現に向け、富山市と連携して取り組みを進めています。



段差に強い
大きな車輪

実装に向けた現地ワークショップの様子



GOOD DESIGN
AWARD 2014

大容量の2つのバッグと
座りやすい座面



コンパクトに
収納可能で
街なかの景観にも
マッチ

◆「富山発・高齢者向けホコケンIoTプロジェクト」

富山大学「歩行圏コミュニティ研究会（通称：ホコケン）」が中心となり、2011年10月から歩くことによる健康維持と健康寿命の延伸を目指し、富山大学・富山市・企業・市民と協働で進めてきた「歩いて暮らしたくなるまち（歩行圏コミュニティ）づくり」の研究プロジェクトに、マイクロソフトのテクノロジーが加わった取り組みです。歩行補助車「まちなかカート」にマイクロソフトのタブレット「Surface」を取り付け、高齢者がまちなかを移動すると、様々な情報（歩行距離、歩行時間、店舗情報など）を確認することができます。

三協マテリアル社製の「シェアウォーカー」が、同プロジェクトの「まちなかカート」として使用されています。

2-11.
2017年5月期
2Qトピックス

タテヤマアドバンス社 チャネルサイン「アドチャンネル」発売
——店舗ロゴやマークを美しく演出

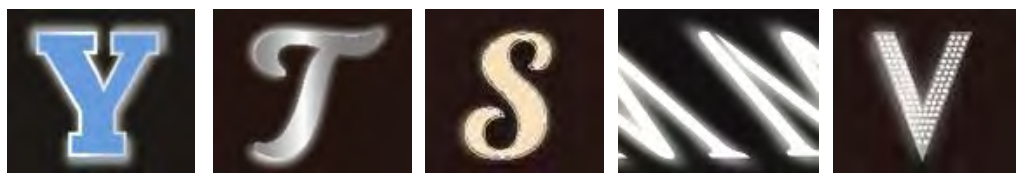


▲ 上段：AD-CH 正面発光縁あり
下段：AD-CH バックライト

上部：アドビュー2連結
▼ 下部：AD-CH 正面発光縁無し



●AD-CH（金属フレーム文字サイン）



正面発光 バックライト 正面+バック 正面縁無し 正面砲弾型

●AD-RL（樹脂文字サイン）



正面発光 側面発光 正面+側面 背面発光 ネオン風

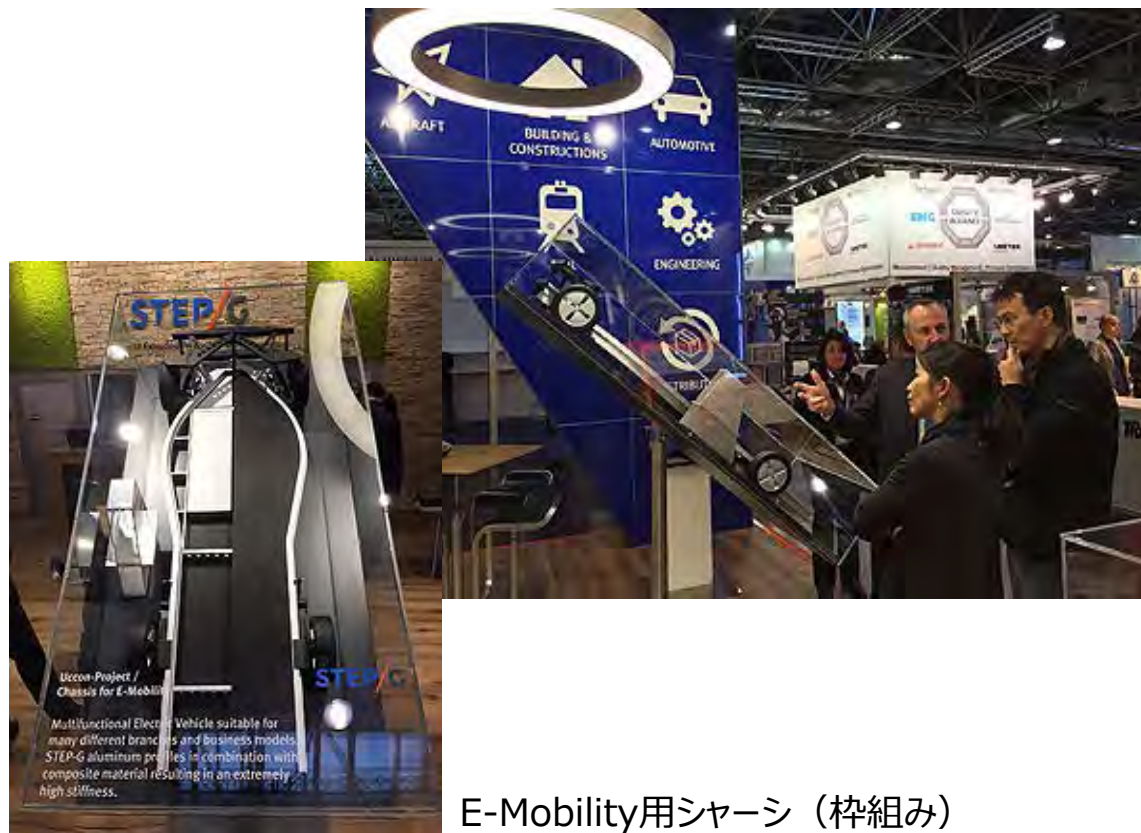
近年、LEDが市場に多く流通し、屋外広告においても消費電力の削減と長寿命化が可能になりました。その中で、より意匠性に優れたデザインが求められるようになり、一文字ごとに発行する立体的なチャンネルサインの採用が増えています。お客様の多様なご要望にお応えすべく、新たな商品カテゴリーとして2016年11月より受注を開始しました。

2-12.
2017年5月期
2Qトピックス

国際事業 STEP-G ドイツ「ALUMINIUM 2016」に出展 ——最新のE-Mobility（電気自動車）関連部材などを展示



STEP-Gブース



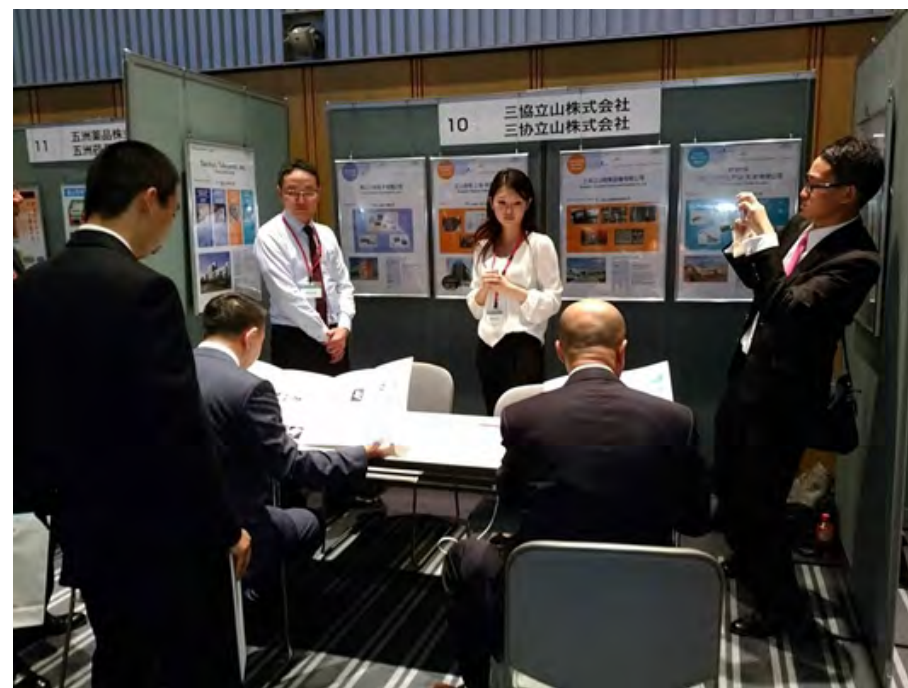
E-Mobility用シャーシ（枠組み）

◆ALUMINIUM 2016

2年ごとに開催され、欧州のみならず世界各国からさまざまな分野の来場者が集まる大規模なアルミニウム製品の展示会。アルミニウム製品の需要が年々増加していることに比例して、同展も回を追うごとに規模が拡大しています。2016年は11月29日～12月1日にドイツのデュッセルドルフ・メッセにて開催されました。展示面積は約7,800㎡、出展は50カ国以上から約1,000社、来場者は100カ国以上から約27,000人となりました。

2-13.
2017年5月期
2Qトピックス

三協立山 「2016年 日中経済協力会議 — 於富山」に参加 ——ビジネス機会創出に期待



◆日中経済協力会議

11月21～23日の3日間、政府、地方政府、企業、経済団体、研究機関などの日中関係者が一堂に会し、今後の経済協力に関する議論のほか、ビジネス機会の創出を目指した対談と交流を図りました。21日には企業視察と展示商談会が行われ、中国側参加者が当社の射水工場をはじめとする県内企業を視察した後、商談などのマッチングを行いました。

2-14.
2017年5月期
2Qトピックス

三協立山 「ツインリーフの森づくり<第11回>」植樹活動 ——高岡市と締結した「企業の森づくり」へ参画

11月6日、とやま・ふくおか家族旅行村において開催し、今回で苗木2,000本の植樹が完了しました。今回は、2017年に富山県で開かれる「第68回全国植樹祭」のプレイベントとして、高岡市との共同開催となりました。



集合写真



社員とその家族ら85名がボランティアで参加

◆ツインリーフの森づくり

2013年4月に高岡市と締結した「企業の森づくり」の一環として、とやま・ふくおか家族旅行村（富山県高岡市）の山林に毎年500本程度の苗木を5年間植樹。その後10年間維持管理を継続し、計15年で約2,500本の苗木の育成を目指します。

2-15.
2017年5月期
2Qトピックス

三協立山 さまざまな地域貢献活動に参画 ——海岸清掃活動を実施 & 保育園での「環境教室」開催



22名がボランティア参加した海岸清掃活動



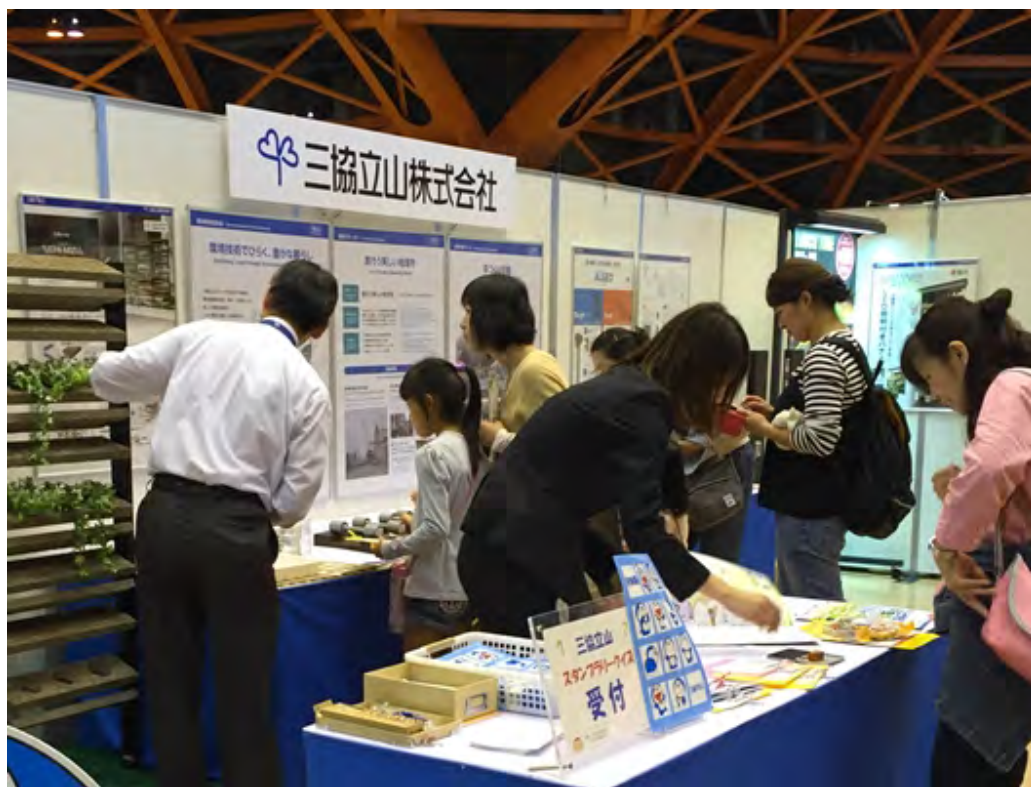
園児たちが環境問題について学んだ環境教室

当社では毎年、さまざまな地域貢献活動を実施しています。10月2日、社員とその家族のボランティア参加により、六渡寺海岸（射水市）のゴミ拾いなどの清掃活動を実施。10月7日には、高岡市内の保育園にて「環境教室」を開催（高岡市と共同開催）し、園児30名が〇×クイズやゴミ分別ゲームを楽しみながら、省エネやリサイクルについて学びました。

2-16.
2017年5月期
2Qトピックス

三協立山 「とやま環境フェア2016」出展

——環境配慮への取り組みを紹介



▲アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ」や
◀環境配慮型ルーバー「UCHI-MIZU(ウチミズ)」を展示
「森づくり活動」など
環境保全への取り組みも紹介した

◆とやま環境フェア2016

「水と緑に恵まれた快適な環境をめざして～未来につなごう！エコな暮らし～」をテーマに開催され、62団体・企業が出展しました。今年で19回目の開催で、例年を上回る約12,000人（2日間）が来場しました。

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社及び連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点での入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、アルミ地金等の価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。